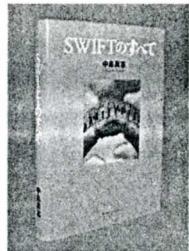


書評

『SWIFTのすべて』



中島真志 著
東洋経済新報社刊
3,465円（税込）

著者の中島真志氏（麗澤大経済学部教授）は、日本銀行から国際決済銀行などを経て現職にあり、決済に関する幅広い知見を有されている。前著の「決済システムのすべて」「証券決済システムのすべて」は、決済にかかる定番教科書。決済に関する書籍はとかく難解な専門用語が頻出するものだが、著者は複雑な仕組みを平易な文章で語れる稀有な存在である。

本書は、世界の主要な決済システムのバックボーンに利用されているSWIFT（スイフト）を組織面とサービス面の両方から包摶的に解説する。金融機関における多様な業務フローとの関係性を明らかにし、さらに30年以上にわたる歴史をふまえ、最新の状況も網羅する、まさに『SWIFTのすべて』というタイト

トルにふさわしい著作である。

本書の特色は、著者が日銀時代に各国の中央銀行と共にスイフトの安全性について監督された経験で培われた洞察に基づき幅広い視点から書き著されている点である。

また、業務でスイフトを利⽤している読者に対しては、担当業務に限定されないスイフトの全体像や日々の業務に携わっていて抱くであろう疑問に答えてくれる良書である。

たとえば何ゆえ決済システムの国際標準化が必要であるのか。本書を読むと実によくわかる。決済システムの行方がふたたび注目されているなか、きわめてタイムリーな出版といえる。

実務で接する機会の少ない経営層にも、スイフトの使命・戦略・活用例を理解するため手にとっていただきたい一冊である。

（評者・三菱東京UFJ銀行決済事業部長・日本代表スイフト理事 上総英男）